

調査・研修等計画届出書

令和 5年 10月 10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 5年10月11日から10月13日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	青森県八戸市周辺視察	
会場名（会場所在地）	岩手県洋野町・岩手県野田村 青森県八戸市美術館・青森県おいらせ町	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	岩手県洋野町 ○東日本大震災からの復旧・復興の取り組みについて 岩手県野田村 ○野田村復興展示室にて震災からの復興について 青森県八戸市美術館 ○学校、企業などとの連携と効果、アートを通してのまちづくりやイベント等に対する市民の反応 青森県おいらせ町 ○東日本大震災からの復旧・復興の取り組みについて	
議長名の依頼	要 ・ ☐ 不要	依頼先（名称）
同行者名	富田宗一・小澤勝・西本潤・宮藺伸仁・高島淳・朝井賢次 山内精一郎・颯田季央・黒柳知世	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 4 月 17 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 5 年 10 月 11 日から 10 月 13 日まで (2 泊 3 日)
調査先・研修名	2011 年東北大震災の復興状況とまちづくり
会場名 (会場所在地)	青森県八戸市・同上北郡おいらせ町・岩手県九戸郡洋野町・ 同野田村
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	2011 年 3 月、未曾有の震災被害に遭った東北地方の各 市町が、どのように復興に取り組み、未だに抱えている課題 について視察し、われわれに可能な支援を考察することはも とより、近々にも起こりうるとされる東南海・南海地震への 備えを強化する方策を考える。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
岩手県洋野町 ○東日本大震災からの復旧・復興の取り組み	
岩手県野田村 ○東日本大震災からの復旧・復興への取り組みと関連施設視察	
青森県八戸市 ○八戸市美術館	
青森県おいらせ町	

○東日本大震災からの復旧・復興の取り組み

調査先（主な質疑・応答内容） ／ 研修（受講後の感想）

【岩手県洋野町】

・同町では副町長林剛敏様、町議会議員大村文雄様ほか防災担当職員3名の出迎えを受け、説明をいただいた。

同町では、震災において死亡および行方不明者がひとりもでなかった。その理由については、一点目に「住民の津波避難の意識の高さ」があるという。同町では昭和8年の三陸津波を経験しており、惨禍を伝える碑の前で毎年慰霊祭を行い、意識の継承がなされていた。

二点目は消防団の役割、行動が徹底されており、津波の際の河川遡上を食い止める水門閉鎖の管理を担っている。

三点目は防潮堤の整備が挙げられる。町内には6地区に12メートルの防潮堤が平成21年に完成し、震災2年前に間に合っている。

・防災計画の機能については、訓練や施設整備等に関する「災害予防計画」、災害発生後の対応に関しての「災害応急計画」、復興に関する「災害復旧・復興計画」の3つがあり、震災に関してはほとんどの対策がカバーできているものとしている。

・復旧についての対策は、およそ4か月をかけて住民意見を聴取し、平成23年度から28年度の6年間で、前半の3年を「復旧期」、後半の3年間を「復興期」と位置付けて事業を推進した。復興計画では「町民生活の再生」「ウニの里と地域産業再生」「災害に強いまちづくり」の3点を基本施策とし、県事業と併せ34の事業を実施した。

【岩手県野田村】

- ・同村では村長小田祐士様、村議会議員小野寺光男様はじめ議会事務局、未来づくり推進班、移住定住観光班の担当職員の出迎え、説明を受けた。

- ・同村は震度5弱の震災に見舞われ、最大18メートルの津波を受け、最大遡上到達高はおよそ38メートルに達したという。家屋の被害は村内の約3割に当たる515棟におよび、37名の犠牲と900名を超える避難者が出た。震災直後から全国の警察、消防、自衛隊などの捜索活動が行われ、3週間後には行方不明者の捜索を終了し復興へと向かうこととなった。

- ・支援については、3月13日から支援物資の搬入が始まり、受付を終了した8月までに県内以外から820件の支援を受け取っている。また人的な支援も9月までに延べ1万2892人のボランティアを受け入れた。支援金は1億858万円であった。

- ・復興に向けては平成23年に、防災まちづくり、生活再建、産業・経済再建の3点を柱に「野田村東日本大震災津波復興計画」を策定。25年には「野田村復興むらづくり計画」を策定した。津波から市街地を守る都市公園の整備や防潮堤の整備などの防災関連もさることながら、沿岸部の水田の復旧、ワイナリーの開設、バイオマス発電所、のだ塩工房再生など経済復興へもいち早く取り組んでいる。

【青森県おいらせ町】

- ・同町では議会事務局長佐々木拓仁様ほかまちづくり防災課長、同課長補佐の出迎えを受け、説明を聴いた。

- ・同町では、最大震度5強、最高約9メートルの津波に襲われ、住家非住家あわせて300棟が全半壊した。避難者は2500人に及んだ。

- ・平成23年8月、特定被災地方公共団体に指定され、復興交付金を活用して「おいらせ町震災復興計画」を立案した。震災対策として、発災時に迅速かつ的確な情報を提供し、指示が出せるよう360度旋回型の津波監視カメラを設置し、また浸水域内に⁽¹²⁾居住し、避難所までの避難が困難な住民のために「明神山防災タワー」（総事業費2億3千万円）を建設した

【青森県八戸市】

・八戸市美術館では同館副館長宗石美佐様、総務経営リーダー水野茂樹様より案内、説明を受けた。

・同美術館は昭和44年に建設された旧美術館の老朽化に伴い、市民から新しい美術館整備を求める声が高まり、「24万都市にふさわしい新美術館の建設を求める陳情書」が議会で採択された。この結果2021年11月にこれまでにない新しいタイプの美術館としてオープンした。本体のみ総工費約32億円、「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館」「出会いと学びのアートフォーム」をスローガンとしている。

・同館の特徴としてだれでも自由に使える広大なジャイアントルームと専門性の高い個室群に大別して設計されており、市民らの使い勝手がこれまでと比べ格段に良くなっていることが挙げられる。また入館料も無料で、ジャイアントルームやテラスでの持ち込み飲食も自由など、市民が訪れるのに高い敷居は全くない。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

○今回の視察は平成23年3月に発生した未曾有の震災・津波被害から東北の人々がどのように立ち向かい、復興を遂げてきたかを視察する目的であった。

岩手県洋野町、野田村、青森県おいらせ町のいずれでも感じたことは、とにかく人と人との繋がりこそが、被害を最小限に食い止め、復興を早めるということであった。その繋がりを機能的かつ有機的にし、効率的かつ効果的にするのが各自治体で策定する防災計画であり行動指針である。

これを精密なものにブラッシュアップし、さらに大事なのはこれを住民に知らしめて共有することである。ともすれば自身に被害の経験など無い市民は実感がともなわず、情報共有がむずかしい。これは阪神大震災の際の西宮市の例であるが、発災まで市の進めていた防災台帳整備は個人情報も多分に含むために、協力した人は50%に満たなかったが、発災後はほぼ100%になったという。

訓練などを通じ、途切れることのない情報提供を行っていくことが自治体に求められると考える。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 11 日	名古屋飛行場	飛行機	片道	青森空港	693	km	37,300	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
アパホテル本八戸					0178-73-3000		13,000 円		
備考欄									
青森空港から八戸市内の移動の際はレンタカーを使用する。									

50,300 円

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 12 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
アパホテル本八戸					0178-73-3000		13,000 円		
備考欄									
八戸市内の移動の際はレンタカーを使用する。									

小計 13,000 円

日付	出発駅	交通手段	片道 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
5 年 10 月 13 日	青森空港	飛行機	片道	名古屋飛行場	693	km	37,300	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									
八戸市内から青森空港の移動の際はレンタカーを使用する。									

パック等による割引など 小計 37,300 円

22,250 円

宿泊費 合計

26,000 円

交通費 合計

74,600 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

78,350 円